

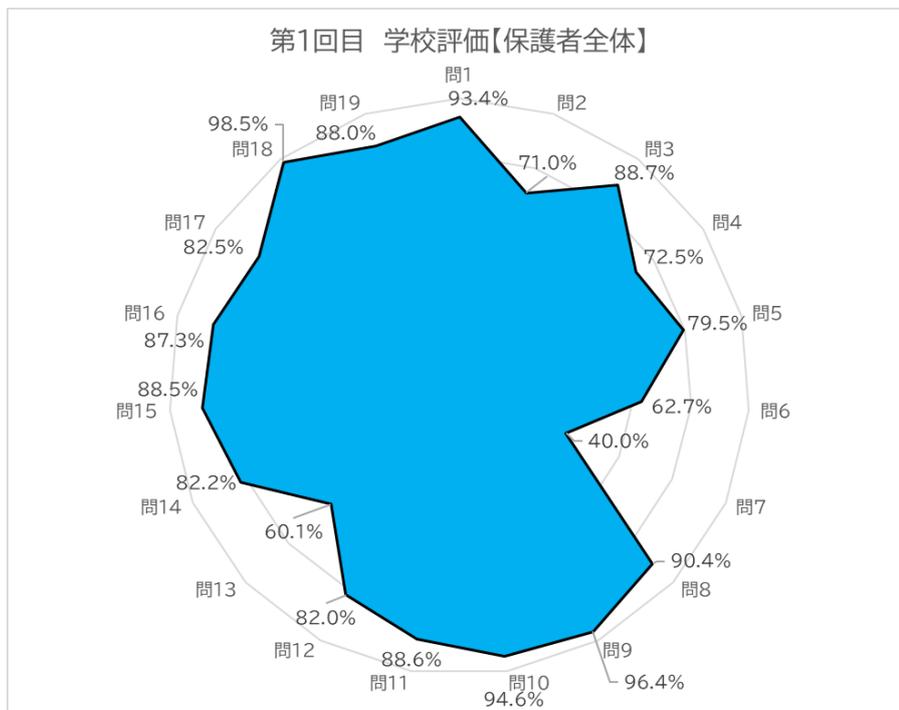
令和5年度万田小学校【1回目】学校評価アンケート集計結果

荒尾市立万田小学校 校長 北岡 誉久

ご協力いただきました、1回目の学校評価アンケートありがとうございました。昨年度から2回の学校評価を実施することとしました。今回の結果を基に、修正できるところを検討し、今後の教育活動に反映させて参ります。その状況を見られて、再度2回目の評価をお願いします。

※グラフは、各質問項目において「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を併せた数値となっていますので、低い項目は「どちらかといえばそう思わない」「思わない」「わからない」の数値が高いことを意味します。

【保護者による評価】 回収率82% ※昨年度回収率82%



問	内容	割合
問1	万田小は、本年度の教育目標「誰もが活躍し、子供が自立できる学校」に向けた取組ができていると思いますか。	93.4%
問2	お子さんは、主体性(進んで挑戦しようとする姿)が身に付いていると思いますか。	71.0%
問3	お子さんは、協働性(仲間とともに高めようとする姿)が身に付いていると思いますか。	88.7%
問4	お子さんは、自律性(自分をコントロールする姿)が身に付いていると思いますか。	72.5%
問5	お子さんは、「学習内容がわかる」と言っていますか。	79.5%
問6	お子さんは、宿題や家庭学習を工夫して取り組んでいますか。	62.7%
問7	お子さんは、メディアの時間(スマホやテレビ、ゲームなど)をコントロールする力が身に付いていると思いますか。	40.0%
問8	あなたは、自分からお子さんに対して、明るく元気なあいさつをすることができますか。	90.4%
問9	お子さんは、楽しく学校に通うことができますか。	96.4%
問10	お子さんは、いじめを許さないなどの人権意識が育っていると思われますか。	94.6%
問11	お子さんは、約束やきまり(家庭内・学校内・交通ルール等)を守った生活ができていますか。	88.6%
問12	お子さんは、生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)の習慣が身に付いていますか。	82.0%
問13	お子さんは、地域とのつながり(地域での行事や活動等)を通して、地域への愛着が身についていると思いますか。	60.1%
問14	万田小は、お子さんの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組に力を入れていると思いますか。	82.2%
問15	万田小は、いじめや差別をなくするために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	88.5%
問16	万田小は、学力を伸ばすために授業や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	87.3%
問17	万田小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	82.5%
問18	万田小は、「学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等」で、学校や学級の様子を適切に伝えていていると思いますか。	98.5%
問19	万田小は、職員の働き方改革に向けた業務改善ができていると思いますか。	88.0%

【学校教育目標に関する内容 問1～問4】

- 教育目標は、学校だけでなく保護者や地域とも共有し、実現に向けて取り組んでいくことが大切だと考えています。今後ともよろしくお願いします。
- ▲ 主体性と自律性については、いずれも80%を下回りました。特に、自律性については、ご家庭でも課題とされていることが見受けられました。グランドデザインにも示しているように、「自分で決めたことに責任ある行動をする姿」を目標に取組を強化していく必要があると思います。また、主体性につきましては、子供たちが受け身にならず、一人一人が活躍できる場を作り出していくために、学校・家庭・地域が一体となって取り組んでいく必要があると考えています。

【学習に関する内容 問5～問6】

- ▲ 学習内容がわかると言っているご家庭が8割に満たない状況は、私たちとしてもしっかりと受け止めなければならないと思います。
- ▲ 宿題や家庭学習を工夫して取り組ませるためには、子供たちが工夫しなければ取り組めないような課題設定を考える必要があります。本年度から学年の実態に応じて、プリント類など全員共通の宿題から自主学習ノートの課題を増やすといった取組を始めています。プリントやドリルだけでなく、自ら学習内容を考えるような家庭学習へのご理解とご協力をお願いします。

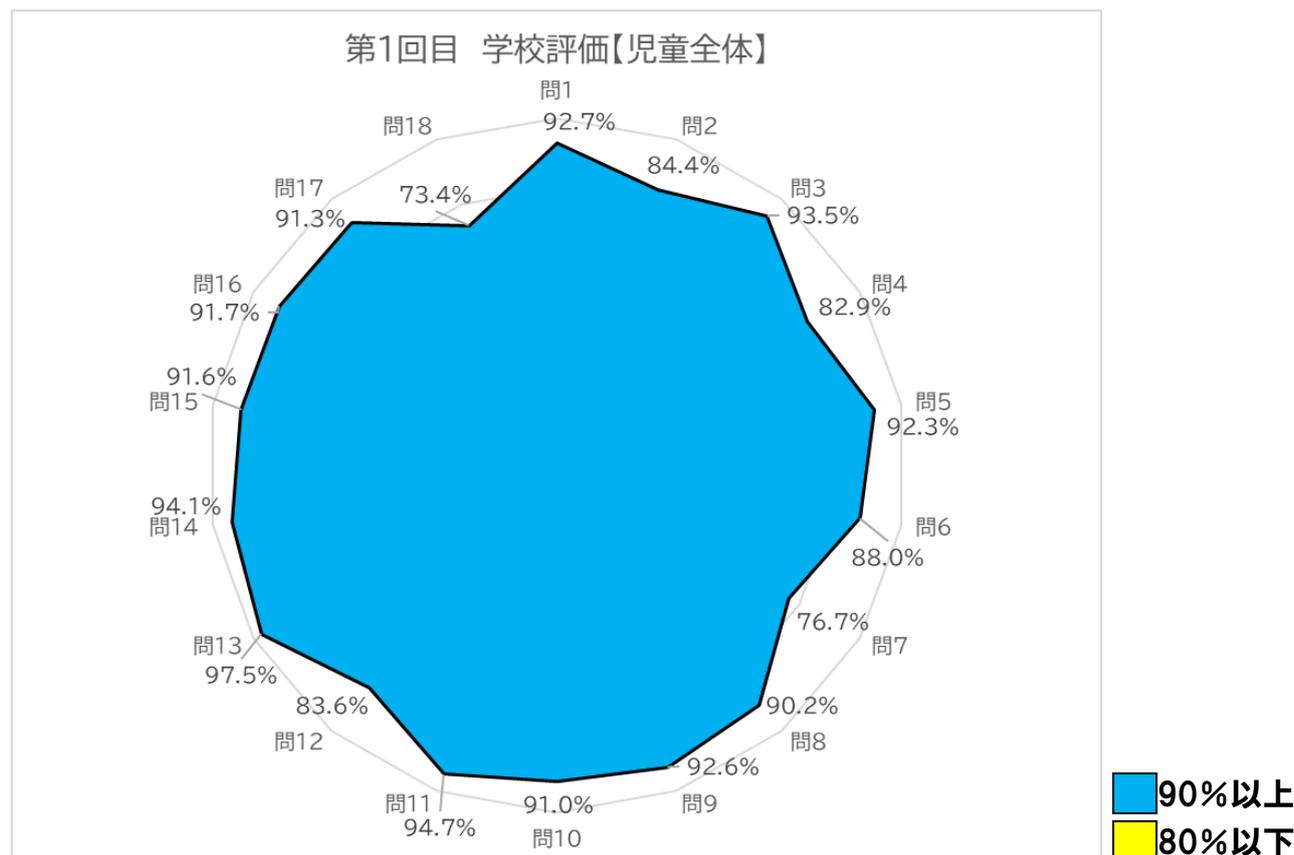
【子供さんの様子や家庭生活及び地域とのつながりに関する内容 問7～問13】

- 「楽しく学校に通っている」「いじめを許さないなどの人権意識が育っている」の項目が95%前後になっています。引き続き学校が安心・安全な居場所にしていきます。
- 各ご家庭で「自分からお子さんに対して、明るく元気なあいさつをすることができている」「約束や決まりを守った生活ができている」「生活リズムの習慣が身についている」といった項目において、各家庭で取り組んでおられることに感謝します。
- ▲ 問4にも通じる「メディアコントロール」に関して、これからの時代は、スマホが生活の必需品になることは否めません。しかしながら、与える以上はルールや制約を親子で話し合っていくことが必要です。生活リズムを崩し、ネットトラブルや課金問題、小学生段階に必要な時間（睡眠や親子の会話、読書、家庭学習等）にしわ寄せが来るようでは、本末転倒です。各家庭でのルール作りを再考願います。
- ▲ 地域とのつながりを通じた地域への愛着については、児童会も様々な地域行事との連携を考え、提案しているところです。低学年も地域に関する学習を積極的に取り入れていますし、6年生は万田坑の子どもガイドを通じて郷土愛を高めています。全国や県の平均値と比べても、本校の子供たちは地域のために自分にできることを考えている割合が15ポイントほど高い傾向です。子供たちの学校評価を見ても一目瞭然ですので、どんなことをしているのかご家庭でも聞き取りをされてみてください。

【万田小の取組に関する内容 問14～問19】

- 今後も学校の様子をタイムリーに伝えていきますので、親子の会話のきっかけにさせていただきたいと思います。
- 働き方改革は、職員の健康を守ることで子供たちに還元できるものです。ご理解をお願いします。

【児童による評価】



問 1	本年度のキーワード「みんながかつやく！一歩前進」に向けた取組ができていると思いますか。	92.7%
問 2	主体性(進んで挑戦しようとする姿)が身に付いていると思いますか。	84.4%
問 3	協働性(友達と協力しながら解決に導く力)が身に付いていると思いますか。	93.5%
問 4	自律性(自分をコントロールする姿)が身に付いていると思いますか。	82.9%
問 5	学校の授業(学習内容)はわかりますか。	92.3%
問 6	宿題や家庭学習を工夫してがんばっていますか。	88.0%
問 7	メディアの時間(スマホやテレビ、ゲームなど)をコントロールする力が身に付いていると思いますか。	76.7%
問 8	自分から家庭内や地域で明るく元気なあいさつをすることができますか。	90.2%
問 9	楽しく学校に通うことができますか。	92.6%
問 10	友達をからかったり、いじめたりすることを許さない心が身についていますか。	91.0%
問 11	学校や家、地域(公園など)での約束やきまり(交通ルールも)を守った生活ができていますか。	94.7%
問 12	生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)は守れていますか。	83.6%
問 13	地域とのつながり(地域での行事や活動等)を通して、万田小学校区や荒尾市のことを大切にしたいと思いますか。	97.5%
問 14	地域の人たちと一緒に学習や活動をするのは楽しいですか。	94.1%
問 15	いじめや差別をなくするために、道徳や人権集会で学んだことをいかして生活していますか。	91.6%
問 16	自分の学力をのばすために積極的に授業に参加したり、家庭学習に取り組んだりしていますか。	91.7%
問 17	体力の向上や健康面を考えた生活をおくっていますか。	91.3%
問 18	学校だよりや学級通信、ホームページを読んだり、おうちの人と話題にしたりしていますか。	73.4%

【学校教育目標に関する内容 問1～問4】

- 学校教育目標に向けた取組や3つの資質・能力（主体性・協働性・自律性）が身につけていることを肯定的に捉えている子供が多いことは大変喜ばしいと思います。授業や日常生活でも意識していることの表れだと思います。
- ▲ 保護者や教職員の回答と比較してもわかりますように、大人の受け止めとの「ずれ」があることについては、その要因を含めて注意深く見ていく必要があると考えます。

【学習に関する内容 問5～問6】

- 「授業（学習内容）がわかる」と答えている子供は、全ての学年において90%を超えていました。しかしながら、「わかったつもり」にはなることができても、本当に自分の中に身に付くには、「友達におしえられるようになる」「自分で問題を作ることができるようになる」ことが必要です。そうした点を今後重視していきます。

【生活及び自分自身のことに関する内容 問7～問12】

- 「自分からあいさつをする」が今年初めて90%を超えました。コロナ禍も終わり、地域の方との交流も増えたことも関係しているのかもしれませんが、継続してほしいと思います。「楽しく学校に通うことができる」という項目について、90%を超える肯定的な回答でした。引き続き、子供たちにとって心理的安全性の高い学校・学級にしていきます。しかし、少数ながらその逆の回答をしている子供たちがいることへの対応も忘れてはならないと考えています。
- 「友達をからかったり、いじめたりすることを許さない心が身についていますか。」という問いに対して、85%を超える肯定的な回答がありました。今後もいじめを含め、部落差別を始めとする様々な差別問題は、差別する側の問題であることを理解し、実践行動に移せるようにしていきます。
- ▲ メディア時間をコントロールすることについては、本年度も低い結果でした。このことにつきましては、学校でも全体指導を進めるとともに、今一度各家庭で話し合いのもとルール作りをお願いします。限られた1日の時間をメディア（ゲームや動画配信、SNS等）に奪われないようにお願いします。

【地域とのつながりや学んだことを生かそうとすることに関する内容 問14～問17】

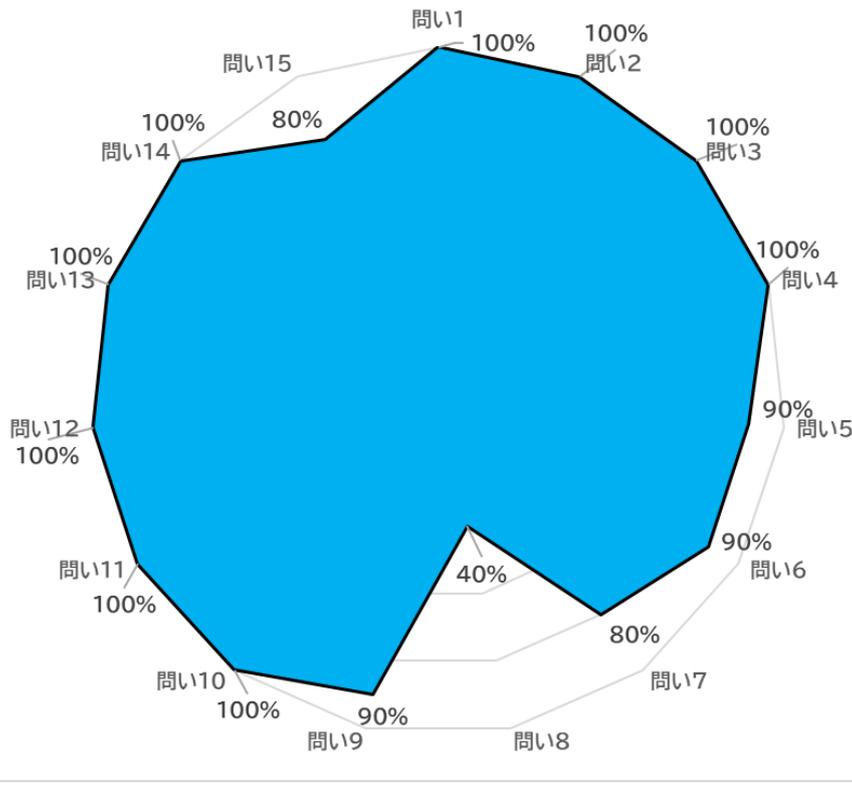
- 保護者や教職員の評価では高くなかった「問13や問14」の回答は90%を超えています。各学年では、積極的に地域の教育力を導入したり、外向きの活動を取り入れたりしていることなどから、地域愛が醸成されていると考えられます。子供たちも多くの地域人材との関わりで、コミュニケーション力や社会性を身につけていることに感謝したいと思います。
- ▲ 日常的に体を動かすことに関しては、二極化が進んでいます。運動の習慣化を図ることで、生涯にわたって体を動かすことの楽しさを味わえるように取り組んでいく必要があると考えています。

【学校からのお知らせを家族と共有することに関する内容 問18】

- ▲ 学校の情報を頻繁に発信していることへの評価は、保護者の結果からもうかがえますが、子供たちはこれらの情報について、家庭で話題にしていけないことに課題があります。親子の会話のきっかけにしていただければ幸いです。

【学校運営協議会委員による評価】

第1回目 学校評価【学校運営協議会委員】



問 1	あなたは、本年度の教育目標「誰もが活躍し、子供が自立できる学校」に向けた取組を提案又は実践されていますか。	100%
問 2	あなたは、子供たちの主体性（進んで挑戦しようとする姿）を意識した取組を提案又は実践されていますか。	100%
問 3	あなたは、子供たちの協働性（仲間とともに高めようとする姿）を意識した取組を提案又は実践されていますか。	100%
問 4	あなたは、子供たちの自律性（自分をコントロールする姿）を意識した取組を提案又は実践されていますか。	100%
問 5	あなたは、自分から進んで登下校など地域において、子供たちに明るく元気なあいさつをすることができますか。	90.0%
問 6	あなたは、子供たちに対して、いじめを許さないなどの人権意識を育てる言葉かけなどを行っていますか。	90.0%
問 7	あなたは、子供たちが約束やきまり（地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などでの遊び方等）を守るような声かけや取組をしていますか。	80.0%
問 8	あなたは、子供たちの生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）の習慣が身に付くように、家庭への声かけや啓発等の提案又は実践をされていますか。	40.0%
問 9	あなたは、子供たちに対して、地域とのつながり（地域での行事や活動等）を通して、地域への愛着を身につける提案又は実践をされていますか。	90.0%
問 10	万田小は、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組に力を入れていると思いますか。	100%
問 11	万田小は、いじめや差別をなくすために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	100%
問 12	万田小は、学力を伸ばすために授業や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	100%
問 13	万田小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	100%
問 14	万田小は、学校や学級の様子及びお知らせ（学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等）を適切に伝えていると思いますか。	100%
問 15	万田小の働き方改革に向けた業務改善について、提案又は実践をされていますか。	80.0%

【学校教育目標に関する内容 問1～問4】

- 学校運営協議会制度が導入される前の「学校評議員制度」との大きな違いは、学校運営協議会委員となった方々は、学校とともに学校運営を担う責任があることです。そういった点からも、教育目標や資質能力を身につけさせていくための提案や実践が高まっていることに感謝いたします。ともに子供が育つ学校の一員という表れだと思います。今後ともよろしくお願いします。

【子供たちへの生活や規範意識、地域愛の育成に関する内容 問5～問9】

- 各委員それぞれのお立場で関わるができる場面は様々だと思いますが、それぞれに工夫して取り組まれていることは、先日の会議でも話題になりました。
- ▲ 生活リズムに関する家庭への提案・啓発は、とても難しいところだと思います。今年は、子供たちと一緒に話し合いをする機会も増えてきましたので、その時にでも子供たちに声をかけたり、諭したりしていただければ幸いです。

【万田小の教育活動に関する内容 問10～問15】

- いずれも高い評価をしていただいています。今後も学校運営協議会では、学校運営とともに進めていくために、学校教育目標の実現に必要な取組や課題を常に共有し、熟議を重ねていきたいと思っております。そして、子供が自立する（子供が育つ）ために必要なことを出し合い、検証していけるようにしていきます。
- もう一つ高い評価をいただいた「学校からの情報発信」につきましても、学校だよりやHPについて、委員の皆様にも常に共有できるようにするとともに、「伝える」で終わらず、「伝わる」紙面の工夫を行ってまいります。
- 本校の人権教育や学力向上の取組につきましては、機会を見て参観していただきたいと思っております。また、11月の研究発表会でも複数のクラスで授業を行いますので、ご覧ください。
- 本校の働き方改革につきましては、第2段階に入っていると思っております。第1段階は、市教委からの提供で「留守番電話の設置」「在校時間把握のデジタル化」「校務用PC等の整備（他の市町よりもかなり進んでいる）」「日課の工夫等による放課後の時間の確保」といったことです。今後は、第2段階としてこれらの時間を有効活用しつつ、子供たちのために自分自身のウェルビーイングな生活を心がけることが必要です。しかし、そのためには保護者や地域住民の理解も必要になってきますので、それらへの啓発等にご協力いただきますようお願いいたします。

【先日の学校運営協議会で出された主な「解決策」や「提案内容」】

<解決策>

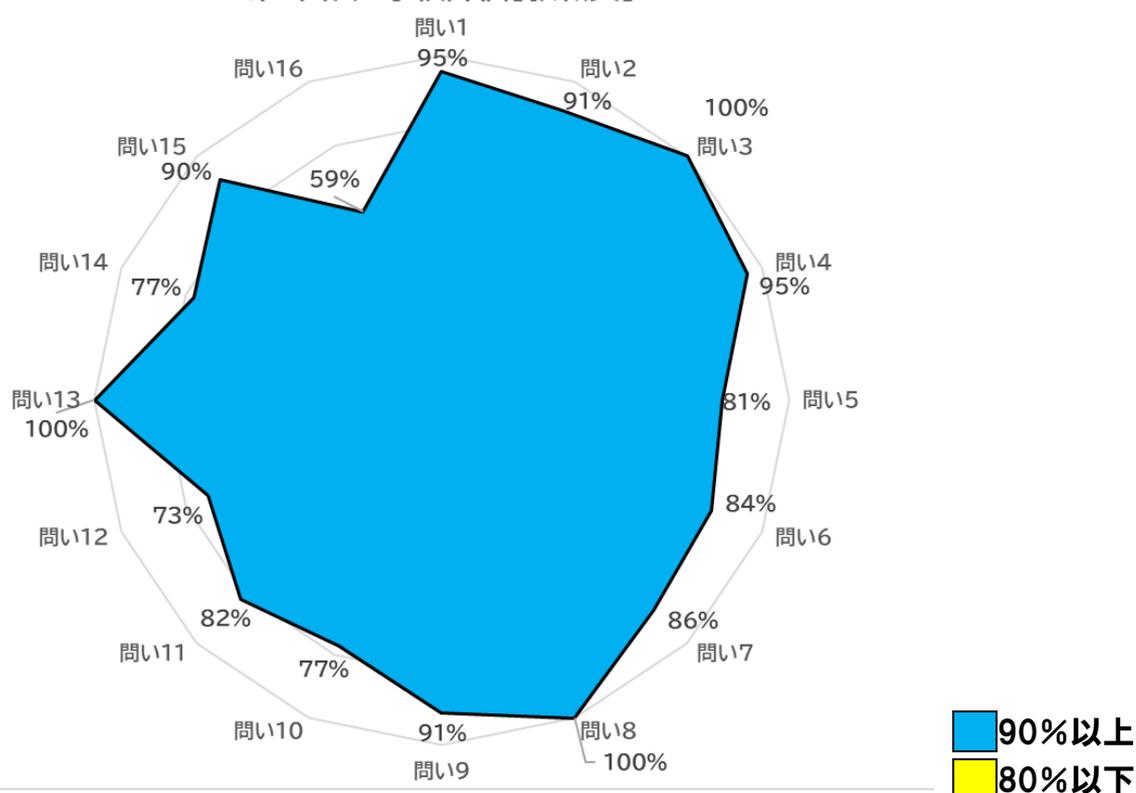
- ・親自身がもっと学ぶ機会を作り、子供にルールを教える。家でもっと子供と話をする。
- ・委員一人一人が“学校の眼”になる。
- ・学校行事や地域のことを保護者にもっと伝えていく。

<提案内容>

- ・子供の生活リズムを可視化させるとともに学力との相関関係を保護者に伝える
- ・(逆転の発想として)メディア(SNS等)を使った親子の会話

【教職員による評価】

第1回目 学校評価【教職員】



問 1	『あなたは、本年度の教育目標「誰もが活躍し、子供が自立できる学校」に向けた取組ができていますか。』	95.0%
問 2	『あなたは、主体性（進んで挑戦しようとする姿）を意識して教育活動に取り組んでいますか。』	91.0%
問 3	『あなたは、協働性（仲間とともに高めようとする姿）を意識して教育活動に取り組んでいますか。』	100%
問 4	『あなたは、自律性（自分をコントロールする姿）を意識して教育活動に取り組んでいますか。』	95.0%
問 5	『子供たちは、「学習内容がわかる」と思っていますか。』	81.0%
問 6	『子供たちが、工夫して取り組める宿題や家庭学習を出していますか。』	84.0%
問 7	『あなたは、自分から子供たちに対して、明るく元気なあいさつをすることができますか。』	86.0%
問 8	『あなたは、いじめを許さないなどの人権意識を育てる指導や取組をしていますか。』	100%
問 9	『あなたは、子供たちが、約束やきまり（家庭内・学校内・交通ルール等）を守るような指導や取組をしていますか。』	91.0%
問 10	『あなたは、子供たちが、生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）の習慣を身に付けるような声かけをしていますか。』	77.0%
問 11	『子供たちは、地域とのつながり（地域での行事や活動等）を通して、地域への愛着が身についていると思いますか。』	82.0%
問 12	『あなたは、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）や地域人材を活用した取組に力を入れていますか。』	73.0%
問 13	『あなたは、子供たちの学力を伸ばすために、授業や個別指導などを工夫して行っていますか。』	100%
問 14	『あなたは、子供たちの体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていますか。』	77.0%
問 15	『あなたは、学級や子供たちの様子及びお知らせを適切に伝えていますか。』	90.0%
問 16	『あなたは、働き方改革に向けた業務改善ができていますか。』	59.0%

【学校教育目標に関する内容 問1～問4】

- 4つの項目ともに高い自己評価を示しています。学校教育目標や身につけてほしい3つの資質能力（主体性・協働性・自律性）を常に意識して取り組んでいることがわかります。本年度は、授業でも教育目標を意識して取り組んでいます。

【学習に関する内容 問5～問6】

- 昨年度の1回目では、この2つの質問は、いずれも80%を下回る結果でしたので、向上していることがわかります。ただし、子供たちが「学習内容をわかる」となるまで指導する以前に、まずは「わかったつもり」にさせ、その上で「友達に教えられること・問題を作ることができるようになること」を通して「わかる」レベルになるようにしていきたいと思えます。

【子供たちの生活等に関する内容 問7～問10】

- いずれも高い評価となっています。引き続き、全職員が同じスタンスで「いじめを許さない」といった人権意識の醸成を進めていきたいと思えます。また、「教師の姿こそ最大の教えである」ことを心がけて、自ら進んで元気なあいさつを行って参ります。
- ▲ 生活リズム等への声かけは、学校でも引き続き声をかけていきますが、家庭への啓発を中心に進めて参ります。

【地域とのつながりや連携に関する内容 問11～問12】

- 昨年度まで子供たちの結果と大きく乖離していましたが、総合的な学習の時間や委員会活動における地域貢献の取組などが、少しずつ定着していることが、職員の評価を押し上げたのではないかと考えています。目の前の数年間だけでなく、20年後、30年後を見据えた取組であることを大切にしていきたいと思えます。
- ▲ 昨年度作成しました年間計画や写真による実績を元に、継続していくことが大切だと思います。今年から、地域学校協働活動推進員が2名体制になったため、気兼ねなく相談して、子供たちの資質能力向上のため、地域人材の協力を依頼していく体制を作っていきます。

【教職員自身の取組に関する内容 問13～問16】

- 子供たちの学力保障に向けた取組や学校からの情報提供（学級通信やHP等）については、意識して取り組んでいることがわかります。ただし、「伝える」と「伝わる」ことは違いますので、今後も「伝わる」と「会話ができる」情報提供を進めます。
- ▲ 熱中症対策などもあって、体力向上に向けた思い切った取組ができていないのは事実です。体育の授業において、運動量の確保や子供たちが苦手意識を持たないような場の工夫及び技術の習得に向けた取組を進めていく必要があります。また、体育の授業に頼らず、いつでもできるような短なわや長なわなども普及させたいと思えます。
- ▲ 働き方改革については、全国的に問題となっています教職員不足も影響しています。今、働き方改革を断行しなければ、職員不足が加速し子供たちに影響が出てしまいます。ウェルビーイングな職場でなければ、子供たちへの指導はもちろん、細かい配慮も難しくなります。しかしながら、ただ待っていても改革は進みません。タイムマネジメントや何事も抱え込まない意識改革も重要です。子供たちのための働き方改革であることを家庭・地域の方にもご理解いただきますようお願いいたします。